

急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会

目 次

急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会報告書

- I. 緒 言
- II. 目 的
- III. 協議日程および概略
- IV. 協 議 結 果
- V. 総 括

急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会

(平成 24 年度)

急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会

委員長 木原 康樹

I. 緒 言

平成 18 年 6 月 21 日、良質な医療を提供する体制の確立を図るため医療法の一部を改正する法律が公布され、この中で医療計画の記載事項として新たに、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の 4 疾病と、救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療の 5 事業が追加された。これを受け、平成 20 年 3 月に改正された広島県保健医療計画においては、4 疾病 5 事業に係る医療連携体制の構築に向けた取り組みについて、疾病・事業ごとの医療機関の機能を示した「医療体制」、役割に応じたそれぞれの機能を担う具体的な「医療機関の名称」を明確にした上で、相互の連携をしてゆくこととなった。

このうち、急性心筋梗塞の地域連携推進については、広島県地域保健対策協議会において、平成 20 年度急性心筋梗塞医療連携推進ワーキンググループが組織され、3 回の協議を経てその概要が形成された。平成 21 年度からは、WG が医療連携推進専門委員会に組織として昇格し、広島大学循環器内科学教授 木原康樹が委員長に就任した。平成 21 年度では、心筋梗塞の急性ならびに慢性期を地域において支える医療機関を急性期救急医療、急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション、慢性期再発予防の 4 群に分割し、それぞれが備えるべき機能要件を指定したうえで選定し、公表した。平成 22 年度には、これら 4 機能医療機関が有効にその役割を果たすためには、医療連携の要となる「急性心筋梗塞地域連携パス」の必要性が認識されたため、その詳細作成についてのワーキンググループを立ち上げ、検討を進めた。平成 23 年度においては、同 WG で提案された「急性心筋梗塞地域連携パス手帳」を試用のうえ校正を繰り返し公表・出版を完了した。平成 24 年度においては、「急性心筋梗塞地域連携パス手帳」を「心筋梗塞・心不全地域連携パス手帳」として改訂

し、急性期のみならず慢性期における陳旧性心筋梗塞や広く慢性心不全患者（県内に 3～5 万人の罹患者数が推定される）への応用と疾病管理・地域連携診療体制の構築を推進した。

II. 目 的

広島県地域保健対策協議会急性心筋梗塞医療連携推進専門委員会は、平成 20 年度ワーキンググループの答申を継承し 5 疾病 5 事業の中で急性心筋梗塞につき、地域において切れ目のない医療の提供を実現し、かつ良質・適切な医療を効率的に提供するための医療体制を構築するべく協議を行い、提言ならびに地域医療連携を図るための活動を行うことを目的とした。

III. 協議日程および概略

第 1 回急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会

(平成 24 年 7 月 20 日 (金))

- ・心臓いきいきセンター事業の推進状況について
- ・心筋梗塞・心不全手帳（地域連携パス）の使用状況について
- ・心筋梗塞・心不全手帳（地域連携パス）の普及について
- ・広島県保健医療計画（第 6 次）の策定について

第 2 回急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会

(平成 24 年 12 月 5 日 (水))

- ・広島県保健医療計画（第 6 次）の策定について
- ①「急性心筋梗塞の医療連携体制」(案)について
- ②「急性心筋梗塞対策」素案(案)について
- ・心筋梗塞・心不全手帳（地域連携パス）利用などに関するアンケートの実施について

IV. 協 議 結 果

1. 心臓いきいきセンター事業の進捗について
平成 22 年度より広島県健康福祉局の支援のもと遂

行している同事業について、木原委員長ならびに県担当者より説明・報告を行った。同事業は地域医療再生計画の一環として施行されており、慢性心不全の回復期などに係る人材育成と基幹病院整備を目指している。平成23年度には県下4病院を指定し活動を開始した。本年度は「心臓いきいきキャラバン」を称して、広島大学病院心不全センターが中心となり、4いきいきセンター活性化のための地域公開講座、研修会を計2クール（8企画）遂行し大きな成果を挙げた。とりわけ地域のコメディカル（薬剤師やケアマネージャー、保健師など）の活動を巻き込みその活性化を促進することができた。

2. 心筋梗塞・心不全手帳（地域連携パス）の使用状況などについて

平成23年度の本委員会にて承認し、心筋梗塞・心不全の包括的な連携ハブとして作成した同手帳の県内配布状況を把握した。本年4月に10,000部作成したが、平成25年3月末時点で残部が高々約700部とそのほとんどを配布した。細部を改訂するとともに更なる配布に対して5,000部の増刷を至急行うこととした。

また配布した同手帳の使用状況と更なる仕様の改善・普及のために県内配布施設を中心にアンケートを実施する（次年度）ことを決定した。

3. 広島県保健医療計画（第6次）の策定について

平成25年度からの新たな広島県保健医療体制の確保のため第6次計画を策定するにあたり、急性心筋梗塞（5疾病5事業に位置づけられた）の医療連携体制について現状の課題と把握を議論した。委員より各圏域の現状について厚生労働省のたたき台に沿って意見を聴取した。広島県の現状として共通していることは、「心筋梗塞超急性期の対応体制は概ね整備が完了していると判断される。」しかしながら、「心血管外科チーム医療体制についてはさらに各圏域でのニーズについて調査が必要である。」また、「回復期については、とりわけ心不全のリハビリテーション、退院調整、地域連携の構築に関する現状調査と整備が必要」との意見が大勢を占めた。県担当者からは、疾病の特徴に沿った医療圏域の再設定についての諮問があったが、現在の7つの圏域を改組するには及ばないとの意見で一致した。

次期心筋梗塞医療体制（第6次）においては、平

成24～25年度地域医療再生基金で施行されている「心臓いきいき推進事業」のさらなる推進を盛り込むことが必須の事項として委員の意見は一致した。また心不全サポート医療体制を拡充し、在宅看護、ケアマネージャー、あるいは介護施設もその中に位置づけ多職種の連携をさらに充実させていくことが提案された。また外科治療については圏域を超えた体制整備が必要であるとの指摘が上がった。

委員の意見を総括し、木原委員長が12月25日（火）に開催された広島県医療審議会保健医療計画部会に出席の上、報告を行った。

最終版「心筋梗塞・心不全手帳：地域連携パス」（添付書類（3））

V. 総 括

5疾病5事業のうち、急性心筋梗塞に関する協議として広島県地域保健対策協議会の平成20年度急性心筋梗塞医療連携推進ワーキンググループを継続して平成21年度から22年度に活動した急性心筋梗塞医療連携推進専門委員会は、地域での機能別医療連携を推進するために、急性心筋梗塞地域連携クリティカルパスを作成・普及していくことが重要であると考え、急性心筋梗塞地域連携クリティカルパス作成WGを中心にその内容を策定した。パス（案）の尾道地区・備北地区での試用から、医療・介護など多職種が理解、使用できるとともに、患者が主人公となって自らの疾病管理意欲を高める仕組みが重要であることが認識された。そのため、患者にとって「わたしの手帳」と呼べる国内でも例を見ない斬新で革新的な「心筋梗塞・心不全：地域連携パス手帳」を完成させることができた。この「パス手帳」の運用を実現することが平成23～24年度本特別委員会の主たる目的であった。本文に述べたごとくすでに約10,000部の手帳配布を実現し、慢性期心筋梗塞・心不全患者の疾病管理や連携医療を推進できたと確信している。それらの事項は広島大学病院心不全センターや「心臓いきいき推進会議」事業を相まって広島県の循環器疾患管理の底上げに寄与したもの考える。今後はそれらの更なる普及、コメディカルの活性化、事業活動のレビューを続け、第6次広島県医療体制の中でその役割を果たしてゆきたいと祈念しつつ本年度事業を終了した。

心筋梗塞・心不全手帳

地域連携パス



広島県地域保健対策協議会
(急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会)

■私の名前

■生年月日 明・大 年 月 日 (歳) 男 女
昭・平

■住 所 〒

■緊急時 (家族への) 連絡先 電話 () -

地域連携パスとは

国と広島県地域保健対策協議会が推進するもので、急性期病院とリハビリテーションを行う病院、それに地域のかかりつけ医とが相互に連携しながら、地域で患者さんを支える仕組みです。

患者さんへ

本手帳は病院、かかりつけ医、薬局、ケアマネージャー、デイサービス、訪問看護などの担当者に見せて、自宅での体調や変化などを知ってもらいましょう。

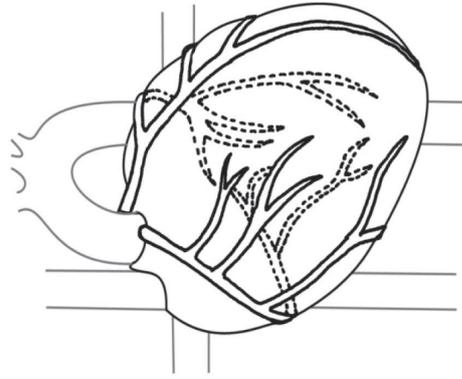
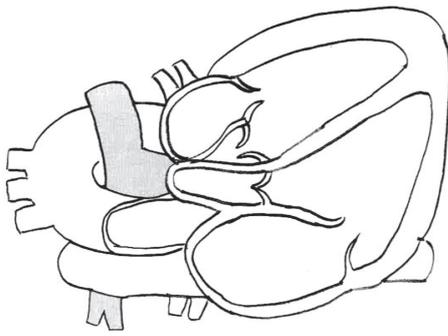
医療・福祉従事者の方へ

本手帳は、「1年間再発や再入院がないこと」をアウトカムとする連携パスです。同時に、医療・福祉従事者と患者さんとの対話型手帳としての機能を盛り込みました。4ページで心血管因子を患者さんと振り返り、5ページで患者さんが到達可能な目標の設定を行うようサポートしてください。6～9ページは記入例を参考にしてください。10ページ以降は対話型になっており、患者さんの記入にコメントを返し、患者さんを支援してください。

**あなたは1人ではありません。
みんなであなただけを支え、
再発・悪化の危険からあなたを守ります。**

私の病名

- 私の心臓の血管の詰まった場所・病気の部位
- 治療の方法と治療部位
- 障害をおこした心臓の領域



●私の入院中の経過

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

●私の心血管危険因子

〈病 気〉

心不全 (EF %・CTR %)

高血圧症

脂質異常症 (高コレステロール血症)

不整脈 (心房細動 ・ 上室性 ・ 心室性)

慢性呼吸不全

腎臓病 (Cr ・ eGFR)

透析 (腹膜透析 ・ 血液透析)

糖尿病 (血糖降下薬 ・ インスリン注射)

甲状腺機能亢進症

脂肪肝/アルコール性肝障害

その他 ()

〈生活習慣〉 (重要な項目を3つ程度で選択)

肥 満 (BMI)

飲酒

運動不足

塩分過多

不規則な食事

睡眠不足

過 労

便 秘

喫 煙 (1日 本)

その他 ()

●体調管理のために私が行うこと

(改善目標となる大切な項目を3つ程度で選択)

- 塩分 (1日 g)
- エネルギー摂取量 (1日 kcal)
- たんぱく質摂取量 (1日 g)
- お酒を控える ()
- 禁煙 ()
- 運動 (屋内 屋外)
- 睡眠時間 () 時間
- 足の手入れ (フットケア)
- 自己血糖測定
- 血圧測定
- 体重測定
- その他 ()

●私の薬

- 心臓を護る薬 ()
- 血圧を下げる薬 ()
- コレステロールを下げる薬 ()
- 血を固まりにくくする薬 ()
- 尿を増やし体液を減らす薬 ()
- 不整脈をおさえる薬 ()
- 血糖値を下げる薬 ()
- インスリン注射 ()
- その他 ()

●急性心筋梗塞後・心不全 地域連携パス

病院

医師

受診病院 / 診療所		退院時の状態	
検査項目	望ましい値	記入例	月 日
主治医に大切な項目			
心臓カテテル 胸部レントゲン 心電図・心エコー など	任意に記載下さい	CAG(H23.12.1) #7 90% EF(H23.12.2):52% CTR(H23.11.30):55%	
体重	標準体重 ()kg	62.4kg	
血圧(外来)	収縮期/拡張期 130/80mmHg未満	138/88	
脈拍	60~90拍/分	72	
BNP(NT-proBNP)	100ml未満 (400pg/ml未満) (心不全管理として)	240(BNP)	
INR(血液凝固能)	1.6~2.4 (ワーファリン使用時)	1.84	
Hb	(男)13.5~17.0g/dl (女)11.5~15.0g/dl	11.2	
総コレステロール	128~219mg/dl	220	
中性脂肪(TG)	50~150mg/dl	182	
HbA1c	NGSP 7.0%未満	NGSP 6.0%	
血清クレアチニン(Cr)	(男)0.6~1.1mg/dl (女)0.4~0.7mg/dl	0.86	
eGFR	>60ml分/1.73m ² (CKDステージ2以内)	72	
微量アルブミン尿 /尿蛋白	30mg/L未満(随時)	(-)	
Na	138~146mEq/L	138	
K	3.6~4.9mEq/L	4.2	

*主治医の先生へ…検査データは全てを記入する必要があります

() () 年)

▲ 診療所 / 病院 医師

| ケ月後
月 日 |
|--|--|--|--|--|
| 有 (/) ・ 無 | 有 (/) ・ 無 | 有 (/) ・ 無 | 有 (/) ・ 無 | 有 (/) ・ 無 |
| 有 ・ 無
余った薬) (|
| 有 ・ 無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| () 本 / 日 | () 本 / 日 | () 本 / 日 | () 本 / 日 | () 本 / 日 |
| 良 ・ 睡眠不足
その他 () |

● 毎日のチェック表

今月の目標：							
	体重 (kg)	朝		夕		服薬	気付き
		血圧 (mmHg)	脈拍 /分	血圧 (mmHg)	脈拍 /分		
1日		/		/			
2日		/		/			
3日		/		/			
4日		/		/			
5日		/		/			
6日		/		/			
7日		/		/			
8日		/		/			
9日		/		/			
10日		/		/			
11日		/		/			
12日		/		/			
13日		/		/			
14日		/		/			
15日		/		/			
16日		/		/			

(年 月)

<p>■私が気付いたこと／■心配なことなど</p>	<p>■医療スタッフからのコメント</p>
---------------------------	-----------------------

今月のあまった薬：

● 11 ●

●毎日のチェック表

今月の目標：							
	体重 (kg)	朝		夕		服薬	気付き
		血圧 (mmHg)	脈拍 /分	血圧 (mmHg)	脈拍 /分		
17日		/		/			
18日		/		/			
19日		/		/			
20日		/		/			
21日		/		/			
22日		/		/			
23日		/		/			
24日		/		/			
25日		/		/			
26日		/		/			
27日		/		/			
28日		/		/			
29日		/		/			
30日		/		/			
31日		/		/			

● 12 ●

修了証

様

あなたは この一年間 病気の
再発や再入院をされることなく
無事に過ごされました
ここにそれを証し あなたの
努力を讃えます

年 月 日

主治医

担当者

■本手帳の請求先：広島県地域保健対策協議会事務局
〒733-8540 広島市西区服部本町1-1-1
電話：082-232-7211 E-mail: citaikyo@hiroshima.med.or.jp

広島県地域保健対策協議会 急性心筋梗塞医療体制検討特別委員会

委員長	木原 康樹	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
委員	井上 一郎	広島市立広島市民病院
	岩橋 慶美	広島市安佐南区厚生部健康長寿課
	榎野 新	中国労災病院
	岡本 光師	県立広島病院
	川本 俊治	呉医療センター・中国がんセンター
	桑原 正雄	広島県医師会
	才野原照子	広島県看護協会
	田中 幸一	市立三次中央病院
	土手 慶五	広島県医師会
	豊田 秀三	広島県医師会
	中濱 一	福山市民病院
	林 拓男	公立みつぎ総合病院
	檜谷 義美	広島県医師会
	藤井 隆	JA 広島総合病院
	森島 信行	JA 尾道総合病院
	森山美知子	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	柳原 薫	東広島医療センター
	安信 祐治	三次地区医療センター